第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査 田紙 (一郎)

				1	機体番金	川 祇(一般)							
エントリー部門					市方典工士兴祉亦而宛公								
				属	東京農工大学航空研究会								
一般部門													
				機	(フリガナ)	/	バレイア						
	選飛行 決勝飛行 登録 No												
8		順	20	体名	$\mathbf{D}_{\mathbf{a}}1_{\mathbf{a}}\mathbf{i}_{\mathbf{a}}$								
					Baleia								
機 体 諸 元													
rr.													
種類		□ 回転翼機(主回転翼を動力駆動しないもの)											
類	☑ 飛行船(浮揚ガスはヘリウムガスに限る)												
全長													
	1250 mm												
全 幅				6	600 mm								
	OOO IIIIII												
全高	480 mm												
		工	ンベロープのヨ	形を翼	型に近づ	けたことで機動性を	高めた飛行船						
空虚		全 247 グラム 注1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量. 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.											
バッラ	-												
(救援物	と位置 物資除 (気嚢の先端 (機首)) を基準に,(尾翼) 方向へ (500) mm <)												
		積と翼面荷重 はガス容積を		1積:		dm²,翼面ӣ (ガス容積		グラム/dm² 0.145 m³)					
	train v	う 関系 までの	## · 幼	10	温即	元公☆K広击汰 • 金銀作	(元] (元] (元] (元] (元] (元] (元] (元] (元] (元]	4 4 4					
至計	LI国ソッ	ら開発までの	期間:約	12	週間	試験・練習総飛	行時間: 約	15 時間					

この面は記載せずに提出

1 1)	機体審査項目	練習前		審査結果		備 考
1)) 種類			予選前	決勝前	νm 5
	/ 1生/5只	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船		,		
種 2)) オリジナル性 ○×					
重	虚重量 飛行船は最大長) : 離陸重量から救援物資除く		g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
) 動力系統種類 ○×					電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
) モータ・プロペラの 対付・安全性 ○×					留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
3)) 絶縁 ○×					絶縁皮膜の徹底
4 バ —)種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe		□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテ 2) リ 3))セル数		セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
[3)) 残量・劣化具合 〇×					膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5 起)進行方向の先端・突 ご部安全性 〇×					制御不能時の機体が周囲に危害 を与えにくい対策されているか.
機 体 性) 組立·装備状態安全 生 〇×					クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
) 2.4GHz (受信機とリ √クして確認) ○×					ラジコン専用周波数
) 送受信部改造無し ○×					プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
H .)非常時 ON-OFF 能 〇×					緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
4) 能) フェールセーフ機 ≦ ○×					
1/	能系統全開,フル操 ミの安全性 ○×					ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.
8 2	この他(備考)					
9 機	後体審査結果 ○×					